



保護者の皆様のご協力に感謝

部長 松本安博

三寒四温とともに、校庭の木々も芽吹き、春の訪れを感じる季節となりました。

3月15日(水)、「第61回卒業証書授与式」まであとわずかとなりました。卒業記念坐禅と講演に手作り会食会、6年生を送る会など、卒業生を祝う行事が続きます。

今年の卒業生は、男子37名、女子52名の合計89名です。卒業生の一人ひとりが、初等部の門をくぐったその日のことをいつまでも胸に、礼儀をわきまえ、自由と規律のけじめをもって立派な中学生になってくれるものと確信しています。また、1年生から5年生までの児童は、3月21日(火)に修了式を迎えます。どの学年も1年間のまとめをしっかりと、4月からの新しい学校生活に繋げていくことを願っています。

2月18日(土)の「音楽会」には、たくさんの保護者の皆様のご来場をいただきました。ご覧いただきましたように、どの学年も限られた練習期間でしたが、練習の成果を十分に発揮し、美しい歌声と演奏を松本講堂に響き渡らせてくれました。

この日も「なかよし会」の保護者の皆様には、会場受付のボランティアをお引き受けいただき、「音楽会」を支えていただきました。

「よき学校は、よき家庭とともにあり。」と、申します。今年度も学校と家庭とが、連携と協働を密にして、初等部の教育活動の充実が図れましたことに心よりお礼を申し上げます。運動会やみどり祭、学芸会でも受付や案内に加えて、準備から後片付けまでいろいろなお手伝いをいただきました。また、新年度入試に向けた学校説明会でも、参加家庭の可愛い子どもたちの預りや保護者視点からの教育相談に取り組んでいただきました。

そして、今年度は、蔵書数33,000冊を超える図書館の本の修理や装備作業をしていただく、図書館ボランティアが誕生しました。どれくらいのご賛同が得られるか、心配な中でのスタートでしたが、毎回多くの保護者の皆様のご協力をいただいています。

ご記憶の方も多いと思いますが、私、11月に「広げよう『チョボラ』活動!」と題する初等部だよりをお届けしました。

ボランティア委員会の児童の呼びかけで取り組んでいる、「私の、僕のちょっとしたボランティア活動」を紹介したものでした。その活動は、誰かに強いられているわけではなく、何かの対価を求めているわけでもなく、あくまでも自主自発的に取り組んでいる児童の姿でした。私は、自らの周囲にも意識をもち、「できるときに、できるところで、できることを、できる範囲で行う。」気持ちがボランティア精神だと考えています。人には、したくてもできないときやことがあります。そして、私たち教職員もその厚意に甘えてばかりいるのではなく、本を大切にしている心の育成や読書指導の一層の充実に向けていくことを忘れてはならないと思います。今後ともに、「できるときに、できるところで、できることを、できる範囲で!」を合言葉に、初等部とご家庭の連携と協働がさらに生まれ、ともに手をつないで、心豊かな児童を育てる学び舎づくりに邁進してまいりたいと思っています。

結びになりますが、今年度も初等部の教育活動を推進するにあたり、保護者の皆様よりたくさんのご理解とご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。ここに重ねてお礼を申し上げます。



【2017.2.14 図書館ボランティアの皆様のご活動風景】